

総合リハビリテーションセンター・みどり病院 オプトアウト書式

①	研究課題名 (申請番号)	アルツハイマー型認知症患者におけるドネペジル経皮吸収型製剤の継続予測因子に関する後方観察研究
②	研究の目的と概要	本研究は、当院における診療録の後方視的調査により、ドネペジル経皮吸収型製剤のアドヒアランス(継続)を決定づける予測因子を特定することを目的とする。本研究により、導入前に介護者負担を評価することの重要性が示されれば、早期の訪問看護導入や先制的なスキンケア指導といった介入の根拠となり、AD 患者の治療継続率向上に大きく寄与する意義がある。
③	利用する情報	通常の診療の範囲内で取得された以下のデータを診療録より抽出して利用する。 患者要因： 年齢、性別、MMSE(認知機能)、CDR-SB(臨床的重症度)、ADL-Cog(日常生活活動) 介護者要因： Zarit-8(Zarit 介護負担度尺度短縮版による評価スコア) アウトカム： ドネペジル経皮吸収型製剤の3ヶ月時点での継続の有無、および中止理由(該当する場合)
④	対象者と対象期間	当院の認知症疾患医療センターにおいて、新たにドネペジル経皮吸収型製剤が処方された、または他剤から切り替えられたアルツハイマー型認知症患者 26名。
⑤	利用の範囲	本研究で得られる情報は、本研究のみに用いられ、他の機関に提供されることはありません。
⑥	試料・情報の管理について責任を有する者	医療法人新成医会 総合リハビリテーションセンター・みどり病院 脳神経内科 副院長 矢島隆二
⑦	オプトアウト掲載期間	データ抽出を開始するまでの14日間および論文が出版されるか、研究を中途終了するまで
⑧	問い合わせ先	医療法人新成医会 総合リハビリテーションセンター・みどり病院 脳神経内科 副院長 矢島隆二 〒950-0983 新潟市中央区神道寺 2-5-1 TEL : 025-244-0080